

2016年3月17日

各 位

オリックス株式会社

インドで合計 1,004MW の大型風力発電事業に参入

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、このたび、当社の出資先であるインフラ開発・投資会社 INFRASTRUCTURE LEASING&FINANCIAL SERVICE LIMITED（本社：インド、Chairman：Ravi Parthasarathy、以下「IL&FS」）と共同で、インドで発電容量合計 1,004MW の風力発電事業を展開しますのでお知らせします。

IL&FS の風力発電事業子会社に対して 49%出資することで合意し、既に運転を開始した発電容量 775MW の発電事業への出資を完了しました。229MW については、2016年9月の運転開始時に出資する予定です。

本事業は、インドの中でも風況が良い南西部の 7 州に合計 26 カ所の風力発電所を設置します。発電した電力は、主に州電力会社へ固定価格買取制度に基づいて売電するとともに、一部は大口需要家へ売電します。

IL&FS は、1987 年にインフラ事業への資金供給を目的とした政策金融機関として、中央銀行や国営保険会社などの出資により設立されました。現在では、エネルギー、交通などのインフラサービス事業や、証券、投資銀行などの金融サービス事業を多角的に展開しています。オリックスは、インドでの事業展開における戦略的パートナーとして 1993 年に資本参加し、現在 IL&FS 株式の 23.5%を保有しています。

温室効果ガスの排出量が世界第 3 位のインドは、COP21 において、2030 年までに発電量に占める再生可能エネルギー割合を 40%に増やす公約を掲げました。その達成に向けて、2022 年までに 100GW の太陽光発電を、60GW の風力発電を導入する目標を掲げており、今後も再生エネルギーのさらなる拡大が見込まれます。

オリックスは、国内において発電容量合計約 850MW の太陽光発電事業や、風力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーによる発電事業を積極的に推進しています。これまでに培った経験や専門性をもとに、今後も IL&FS とインドにおいて風力発電や太陽光発電事業の推進を図るとともに、アジアでのエネルギー事業を強化してまいります。

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
グループ広報部 堀井・中村 TEL：03-3435-3167

■ 「IL&FS」 概要

会社名 : INFRASTRUCTURE LEASING & FINANCIAL SERVICE LIMITED

所在地 : The IL&FS Financial Centre Plot C22,G Block Bandra Kuria
Complex Bandra East

代表者 : Ravi Parthasarathy

設立 : 1987 年

事業内容 : インフラ投資、投資銀行業務

営業収益 (連結) : 116,405 百万インド・ルピー (2015 年 3 月期、約 1,967 億円^(*))

総資産 (連結) : 818,000 百万インド・ルピー (2015 年 3 月期、約 13,824 億円^(*))

拠点数 : 6 拠点 (Mumbai、Bengaluru、Chennai、Delhi、Gurgaon、Kolkata)

ホームページ : <http://www.ilfsindia.com/Index.aspx>

(*)1 ルピー≒1.69 円 (2016 年 3 月 15 日現在) にて換算

■ Madhya Pradesh 州



■ Karnataka 州

